

新潟県社会人バスケットボール連盟 大会運営ガイドライン

第4回 全日本社会人選手権大会 新潟県予選会

実施要項

このガイドラインについては上位団体及び体育施設の指針により、逐次見直すことがあり
得ることをご留意ください

【選手・スタッフ・大会関係者・役員】

- ・会場入場時に検温を行う（37.5度以上あった場合は再検温し帰宅していただく）
- ・マスクの着用を義務付ける
- ・朝自宅にて検温を実施して、37.5度以上あった場合は参加不可とする
- ・準備後片付けはチームより必要最小人数で行う（事前にチームには連絡します）
- ・役員・関係者も必要最小人数にて運営を行う
- ・館内での水分補給以外の飲食を控える

【会場関係】

- ・できる限り入口と出口を分ける（導線）コートも同様とする
- ・入口に消毒液を配置する
- ・試合と試合の間にアルコール消毒をする（ベンチ・TO・ボール他）
- ・会場内フローアは100名以内とする

【試合運営】

- ・1チーム1日1試合とする
- ・第1試合 9：30～ 第2試合 11：40～ 第3試合 13：50～ 第4試合 16：00～
- ・ハーフタイムを15分間に設定する（できれば換気を行う）
- ・延長などで試合が長くなった場合も試合と試合の間は30分空ける
- ・試合が終了したら換気を十分に行う
- ・試合終了後は選手が退場した時点で次のチームが入場する（入口と出口を分ける）
- ・試合終了後はすぐに退館する（TO割り当てがある場合を除いて）
- ・試合が終わった選手の内 TO 担当以外は会場より退出、密にならないように配慮する

【更衣】

・男子はギャラリーで間隔を空けて、女子は時間の調整をして更衣室が密にならないように配慮して使用する

※更衣室は3密ができやすくコロナ感染率が比較的高くなるので利用者数制限を設ける

【ウォームアップ】

- ・ギャラリーは間隔を空けてストレッチのみ
- ・前試合のハーフタイムでのコートでのアップはなし
- ・試合間隔を空けているので、アップは試合前のコートのみ

【その他コロナ対策】

- ・無観客試合とする（状況により緩和する場合もある）
- ・各チーム来場する選手の体調チェックリストを大会本部へ提出する（各日）
- ・大会関係者も検温を実施する（役員・審判他）
- ・大会開催期間中又は終了後に体調不良があった場合はチーム代表者より大会担当者へ連絡する

緊急連絡体制については以下の通り

チーム代表者 →大会担当者 →理事長（または会長） →県協会事務局

新潟県社会人バスケットボール連盟
理 事 長 山 田 真 佐 一